

景気後退リスクの高まりで NY ダウは 3 万ドル割れ

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

景気後退が現実となるようならば更なる調整も

現地16日の米国市場は、NYダウが前日比▼741ドル(▼2.4%)の2万9927ドルと1年5ヵ月ぶりに3万ドルを割れた。ナスダックは▼453ポイント(▼4.0%)で1万646ポイントとなった。前日の米国市場では、利上げ事実の確認によってNYダウ、ナスダックともに上昇していたが、翌日は利上げによる景気後退リスク高まりが意識されることによって下落した。コロナ禍における超金融緩和相場によって、NYダウは3万ドルを超える水準にまで上昇していたが、仮に景気後退が現実となるようならば、更なる調整も視野に入るといえよう。

日経平均の下値レンジを 2 万 4000 円に引き下げ

当面の日経平均のレンジとして、2万6000円から2万8000円を想定していた。米国の景気後退リスクの高まりによって、米国市場の更なる調整の可能性が高まったことから、日経平均の下値レンジを2万4000円に引き下げる。当面はボラティリティの高い相場が想定されよう。

東京市場マーケットデータ

2022/6/16 現在

日経平均	2 万 6431 円
プライム売買代金	2 兆 6416 億円
プライム時価総額	670 兆 4693 億円
日経平均予想 PER	12.8 倍
日経平均 PBR	1.2 倍
日経平均配当利回り	2.4%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

国内株式売買代金ランキング

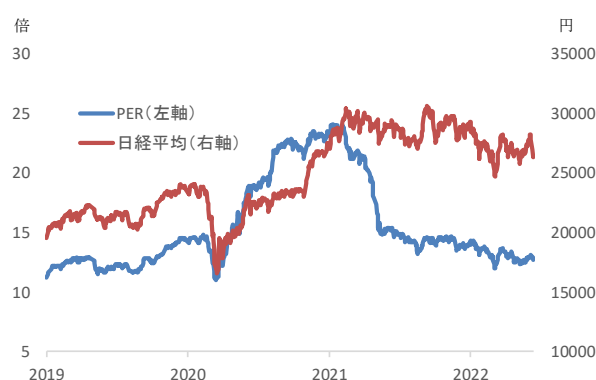
2022/6/16 現在

株価前日比

1	レーザーテック	▼1.1%
2	ソフトバンクグループ	▼0.5%
3	東京エレクトロン	▼0.8%
4	ファーストリテイリング	1.4%
5	トヨタ	2.8%
6	川崎汽船	▼4.6%
7	日本郵船	▼1.2%
8	三菱 UFJFG	0.9%
9	ソニーグループ	1.5%
10	キーエンス	0.5%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

